

奥漣道路(Ⅲ期)

地域の夢と活力を育む道づくり

奥漣道路
(Ⅲ期)
事業中



奥漣道路(Ⅲ期)

北山川

災害に強く安定した地域間交通を実現し、
円滑な救急活動や地域経済のさらなる発展に寄与します。

一般国道169号

奥漣道路(Ⅲ期)

事業の目的

- 災害に対する強靱な道路ネットワークの確保
- 救急医療活動の支援
- 地域経済への寄与

事業の概要

奥漣道路(Ⅲ期)は、開通した奥漣道路及び奥漣道路(Ⅱ期)の延伸区間となる道路で、平成28年度に事業化されました。奥漣道路(Ⅲ期)の事業区間は、防災点検要対策箇所が多数存在し、巨大な浮石・転石が見受けられ、異常気象時通行規制区間に指定されています。また、幅員狭小区間・線形不良区間などが連続しており、すれ違いが困難かつ見通しも悪く、通行に支障をきたしています。

隣接する奥漣道路は平成20年7月12日に、奥漣道路(Ⅱ期)は平成27年9月13日に開通しました。両区間ともに災害時や緊急時における交通機能を確保するとともに、沿線地域の活性化と交流促進を図るために計画された道路です。

奥漣道路(Ⅲ期)がこれらの機能・効果をさらに高め、災害に対する強靱な道路ネットワークを確保、救急医療活動の支援や地域経済等の発展に寄与するために、引き続き整備を進めています。



奥漣道路(Ⅲ期)に寄せる地域の期待

救急 救急活動のスピード向上
命の道の整備促進を



熊野市消防署

当消防署は熊野市内に位置していますが、応援協定により、北山村への救急活動も行います。また、北山川周辺は急峻な地形のため、急カーブによる患者への負担、落石による引き返しなど、救急活動に支障を来すこともあります。

奥漣道路の整備により、救急現場への迅速な出勤や医療施設への所要時間短縮等、多くの効果を感じていますが、まだまだ充分ではありません。住民の命を守るためにも、奥漣道路(Ⅲ期)の早期整備を望んでいます。

サービス 安定したインフラ環境へ
延伸整備の早期実現を



大沼郵便局

郵便事業は、北山村の通信・物流を担う重要な生活インフラです。毎日の集配送に加え、近年では「じゃばら」の配送に利用して頂くことも増えています。

しかしながら、まだ村内の配達に時間を要する地区もあつたりします。また、郵便は、災害時においても届ける必要があるため、道路の通行不能により、集配送が出来なくなることが不安です。村民の暮らしを守る上でも、奥漣道路(Ⅲ期)は重要です。

農業 じゃばらの里での交流機会の増加へ
地域のさらなる活性化に期待



じゃばら生産組合

「じゃばら」は、全国でも北山村にしか自生していなかった特産品です。山と川に囲まれた北山村にとって道路整備は、村の魅力の発信、村外との交流を図る上で必要不可欠です。平成27年度の「じゃばら祭り」では、例年より来場客が増加しており、奥漣道路の整備によって、以前よりも村を認知してもらえる機会が増えたと感じています。

また、年々じゃばら栽培人口や生産量も増加しており、じゃばら産業の活性化にもなっています。奥漣道路(Ⅲ期)には、さらなる地域産業の発展や交流機会の増加などに期待しており、早期の整備を願っています。

観光 観光事業の発展に期待
北山村の魅力発信へ



観光筏下り

北山村の伝統である「筏流し」から発展した観光筏下りは、全国唯一の筏による急流下りとなっており、村の人気観光メニューとなっています。近年では国内でも遠方の方や、海外からのお客様も増えており、お客さんからは奥漣道路の整備により、村が近くなったとの声も頂いています。

今後、奥漣道路(Ⅲ期)が整備されると、村へのアクセスがさらによくなります。例えば近隣市町で宿泊された方が、朝食をすませて朝の第一便に間に合うようになったり、これまで遠回りしていた大型バスで村に来やすくなることから、観光事業のさらなる活性化に期待しています。